

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 姫路発 中高生のための東日本災害ボランティア
活動テーマ	第三回 東北の中高生による東日本大震災からの教訓講演会、及び防災アトラクション



・東南海地震の発生が叫ばれる今、災害発生時に大きな役割を担うと期待される兵庫県の中高生たちに、東日本大震災を体験した同世代の中高生たちによる講演会と、防災アトラクションを通して、その予備知識を学んで貰う。講演会280名とアトラクション450名のそれぞれの定員は、募集期間を僅かに2日間で超える程の大盛況となりました。

前回、前々回と異なり、イーグレひめじ3F あいめっせホールにての講演会に多くの中高生の姿が見られたのは、今回の特徴でもありました。講演会後の質疑応答では、姫路市内の中学生による自発的な質問も飛び出し、内容のある活発なものとなりました。

当日、併設した全国初の試みとなる映像を駆使した体感型防災脱出アトラクションは、講演会と同建物内の地下アリーナAとBにて実施されました。巨大地震の発生からのシミュレーション。映像と暗闇を使ってその場の臨場感を出す手法を取りました。

4ステージ内の1～3ステージを同会場内で実施。

- 1 大地震発生による現状把握と情報収集活動
- 2 真っ暗の煙が充満する部屋からの脱出
- 3 避難所暮らしにて、その場にある物を使っての簡易トイレ作りなどを創意工夫

4ステージ目は御家庭に持ち帰って、

- 4、家庭へ持ち帰って、緊急時の連絡先&集合場所確認カードを作製

東北の中高生による東日本大震災からの教訓講演会と体感型防災脱出アトラクションの両事業を一つの建物うちに開催したことで、相乗効果が見られ、過去になかった程の参加者を集めることが出来ました。